

平成23年度 学校評価(自己評価書)

学校名	旭川市立明星中学校	校長名	増 茂 薫
-----	-----------	-----	-------

※【評価方法】 全教職員による自己点検・自己評価を実施し、さらに生徒や保護者アンケートの結果を踏まえて、成果と課題及び改善方を明らかにした。「評価」欄については、各項目を4点満点で点数化し、その平均値を示すとともにA～Dの4段階で評価した。

大項目		評価項目	小項目及び指標		評価	成果と課題	改善の方策	
重点目標		①	学年・学級経営を充実するとともに、基本的な生活習慣の確立を図り、主体的に健康で安全な生活を送る態度の育成に努めている。	★★★★☆	3.78	A	全教職員による協働体制のもと学年・学級経営の充実に努め、生徒に基本的な生活習慣や望ましい学習習慣が身に付いてきている。また、今年度から長期休業中に体力向上を目的とした取組を開始し、成果をあげている。	今後も、経営方針を明確にし、協働体制を一層強化し、健やかな生活を送り目標に向かって努力する生徒の育成を図る。また、一人一人の個性を尊重し、「生きる力」を育むための支援を継続して行う。
		②	意欲を高め、わかる授業を展開するとともに、望ましい学習習慣の確立を図り、確かな学力の向上に努めている。	★★★★☆	3.56	A		
教育指導	1 学習指導	①	生徒の発達段階や実態に即して指導内容を重点化し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っている。	★★★★☆	3.56	A	チーム・ティーチングや習熟度別学習、放課後自習教室、教科学習相談会などにより、個に応じたきめ細かな指導に努め、家庭学習の習慣化と基礎・基本の定着に効果をあげている。	今後も、これらの取組を推進し、望ましい学習習慣の確立に努め学力向上を図る。また、教科における個に応じた指導を一層充実するため、習熟の程度に応じた指導を推進する。
		②	問題解決的な学習や体験的な学習を重視し、複数教員による指導や個に応じた指導など指導方法の工夫・改善に努めている。	★★★★☆	3.59	A		
	2 生徒指導	③	すき間のない指導体制のもと実態に応じたきめ細かな指導を行い、規範意識の高揚と基本的な生活習慣の定着を図っている。	★★★★☆	3.89	A	全校体制ですき間のない生徒指導に努め、「学校全体の秩序と安定」の実現に効果をあげている。特別支援教育コーディネーターと連携し、学校生活になじめない生徒への支援の充実に努め成果をあげている。	今後も、生徒とのふれあいを重視し、落ち着いた学校生活を送り学習や諸活動に積極的に取り組む生徒を育てる。また、特別支援教育コーディネーターと養護教諭や学年との組織体制を整理し、学校生活になじめない生徒への支援の充実に努める。
		④	日常的な教育相談や学級活動を通して心の触れ合いに努め、自己指導能力を育てる積極的な指導に努めている。	★★★★☆	3.67	A		
	3 道徳教育	⑤	ボランティア活動や豊かな体験活動を生かして内面的な自覚を促し、道徳的な実践力を育てている。	★★★★☆	3.67	A	道徳の時間を要としながら、ボランティア活動や体験活動を推進し、学校の教育活動全体を通して豊かな心を育てている。各教科との関連を図っていくことが今後の課題である。	今後、各学年ごとに重点指導項目を明確にするなど、教職員の共通理解を図って、学校全体で行う道徳教育を充実する。
		⑥	道徳の時間を要として各教科等との関連を図り、生徒の実態に即した重点的な指導に努めている。	★★★★☆	3.22	B		
	4 特別活動	⑦	望ましい集団活動を通して個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てている。	★★★★☆	3.44	B	宿泊研修、修学旅行、明星祭など、望ましい集団活動を推進し、学校生活に秩序と潤いを与えるとともに、生徒の個性を伸ばし自主的、実践的な態度を育てている。	今後、教師の適切な指導の下、委員会活動などの生徒の自治的活動を活性化させ、学級や学校生活の充実と向上に努める。
		⑧	学級活動を基盤に話し合い活動を充実させ、リーダーとフォロワーの育成や、学校生活の向上に取り組む望ましい集団の育成に努めている。	★★★★☆	3.44	B		
	5 総合的な学習	⑨	育てようとする資質や能力を明確にし、生徒が自ら学び主体的に問題を解決しようとする力を育てている。	★★★★☆	3.48	B	学年縦割りの講座形式の学習により、個性の伸長を図るとともに、興味・関心に基づき粘り強く課題追求・解決に取り組む態度を育てている。今後も生徒がより主体的に活動できるように内容の改善を図っていく。	今後、限られた時数の中で生徒の課題追究・解決の活動を保障するため、各講座の指導計画の改善・充実を図る。
		⑩	体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、地域の人的・物的環境を活用した指導に努めている。	★★★★☆	3.44	B		
6 体育健康指導	⑪	心身の健康と安全に関する意識を高め、たくましい心と体づくりに自ら取り組む実践的な態度を育てている。	★★★★☆	3.59	A	学校保健計画や食に関する指導の全体計画等、健康・安全に関わる諸計画を整備し、自他の生命を守り健康の保持増進を図る態度を育てている。	今後も、自ら健康で安全な生活を送ることができるよう、望ましい生活習慣づくりの指導を充実するとともに、体力向上の取組を工夫する。	
	⑫	養護教諭と各担任、学校と家庭との密接な連携のもと、心身の健康や望ましい生活習慣など健康意識を高める指導に努めている。	★★★★☆	3.70	A			
7 進路指導	⑬	進路指導の全体計画に基づき、自己の将来の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択しようとする態度を育てている。	★★★★☆	3.37	B	宿泊研修及び総合的な学習の時間で専門学校における職業体験を実施し、望ましい勤労観、職業観の育成に努めている。一人一人のキャリア発達を目標に支援を行っている。	今後も、職業体験の機会をさらに確保するとともに、キャリア教育の全体計画を整備し、組織的、計画的な指導を推進する。	
	⑭	地域の教育資源を活用した体験的な活動を取り入れ、望ましい勤労観や職業観の育成に努めている。	★★★★☆	3.30	B			
8 情報教育	⑮	情報教育の全体計画に基づき、コンピュータなどの機器を有効活用し、情報を適切に処理し活用する力を育てている。	★★★★☆	3.22	B	教科、総合的な学習の時間において情報活用能力を育てるとともに、携帯電話、インターネットに関わる事故防止教室を実施し情報モラルを育てている。	今後も、道徳との関連も図り、学年の発達段階に応じた計画的な指導を行い、情報社会を生きる適切な判断力を育成する。	
	⑯	情報化社会における望ましい情報の収集や発信の在り方など情報モラルの育成に努めている。	★★★★☆	3.04	B			
9 特別支援教育	⑰	特別な支援を必要とする生徒の実態把握と生徒理解を深め、一人一人の教育的ニーズに応じた教育環境を整備している。	★★★★☆	3.74	A	コーディネーターを中心に特別な支援を必要とする生徒の把握に努め個別の支援計画と指導計画のもと、全校体制で一人一人の発達を促す指導を推進している。不登校生徒の数が減少するなど取り組みの成果もあがっている。	今後も、全校体制で一人一人のニーズに応じた指導を推進するとともに、さまざまな生徒の学習や対人関係における躓きにもきめ細かに対応する。	
	⑱	コーディネーターを中心とする校内委員会を機能させ、組織的な特別支援教育の推進に努めている。	★★★★☆	3.74	A			
10 部活動	⑲	部活動の意義や目的を踏まえ、生徒の自主性・自発性を重視して心身の健全な育成を図っている。	★★★★☆	3.52	A	全員顧問体制のもと、各競技等の特性に応じた活動を推進し、生徒の個性の伸長を図るとともに、健全育成に寄与している。生徒数の減少による部員数や予算の減少が将来的な課題となる。	今後も、部活動の教育的意義を踏まえ、一層の条件整備と指導体制の充実に努める。	
	⑳	今後の部活動の在り方についての検討を図り、部活動の実施に係る条件や環境の整備に努めている。	★★★★☆	3.52	A			
教育経営	1 校務運営・組織	①	校務分掌、特別委員会などの構成や業務内容等は、学校に実態に即して適切に組織、運営されている。	★★★★☆	3.44	B	学年内・分掌内の協力はもとより、学年、分掌の担当をこえた協働体制のもと、円滑な校務運営と創意ある教育の推進に努めている。特別委員会の機能的な運営に関しては、今後改善する必要がある。	今後も、職員構成など実態に応じて適材適所の人事配置に努めるとともに、ミドルリーダーを中心に全校の協働体制を確立し、助けたり助けられたりする校務運営を推進する。
		②	学校教育目標の実現に向けPDCAサイクルに基づく実践と検証を行い、組織体として機能する運営に努めている。	★★★★☆	3.52	A		
	2 学年・学級経営	③	生徒一人一人の居場所や存在感を実感でき、個や集団の成長を促す活力ある学年・学級経営を行っている。	★★★★☆	3.59	A	学年会議を定例化するなどして学年内の共通理解を深め、学年・学級経営の充実に努め、規律ある集団を育成し温かい人間関係をはぐくんでいる。	今後も、全教職員の協働体制のもと、温かい人間関係を基盤にした学年・学級経営の充実に努め、学校の重点教育目標の実現に努める。
		④	学年・学級目標及び経営計画は生徒の実態を踏まえ、学校の教育目標や重点目標の具現化を目指して設定し、検証と改善に努めている。	★★★★☆	3.48	B		
	3 研究・研修	⑤	「確かな学力」の育成に向け、生徒の実態を踏まえた研修テーマのもと、組織的な研究の推進を図っている。	★★★★☆	3.59	A	「学びを楽しむ生徒の育成」という新しい研修テーマのもと4カ年研究の初年度として、「全員一授業」の授業交流及び研究授業などとおして研鑽を積み、確かな学力を育てる授業改善に向け取り組んでいる。	今後、新学習指導要領の全面実施に対応した教育を力強く推進するため、これまでの研究の成果と課題を踏まえ新研究の計画づくりに努める。
		⑥	授業交流など日常的な実践交流により、自らの指導力の向上を図るとともに、研究の成果が生徒に還元される研究の推進に努めている。	★★★★☆	3.78	A		
	4 教育環境整備	⑦	清潔で快適な環境や潤いのある環境づくりなど、生徒が学習・生活しやすい環境の整備を図っている。	★★★★☆	3.67	A	日常的な施設・設備の点検・整備や教材・教具の計画的な配備等により、潤いがあり学びやすい環境づくりを進めている。今年度、教室のロッカー下の棚の設置や掃除機の配置を行っている。	今後も、教育委員会と連携し必要な営繕を進めるとともに、生徒による環境美化活動を推進し自分たちが生活する校舎に愛着を持ち大切に使う気持ちを育てる。
		⑧	校舎内外の施設設備の点検が定期的に行われ、維持・営繕及び安全管理に努めている。	★★★★☆	3.78	A		
	5 家庭・地域連携	⑨	学校だより、学年・学級だより等の各種通信や印刷物が、学校からの情報として効果的に発信されている。	★★★★☆	3.78	A	各種通信等により積極的に情報を提供するとともに、学校行事等ごとにアンケートを実施し、きめこまかに保護者の声の把握に努めている。また、家庭訪問の実施方法を工夫し、いっそうの家庭との連携強化を図っている。	今後も、保護者や地域住民の声をつぶさに把握し学校改善に生かすとともに、学校に対する一層の協力を得るため、積極的な情報提供と日頃からの連携に努める。
		⑩	学校生活上の諸問題にかかわり、双方向のコミュニケーションを図り、家庭・地域との連携協力による指導に努めている。	★★★★☆	3.63	A		